

宇宙とつながる長和町



目次

- 1 注目したポイント
- 2 長和町の春夏秋冬
- 3 長和町の星空
- 4 目的
- 5 コンセプト
- 6 装置
- 7 ストーリー
- 8 設置例

▷注目したポイント

- ・長和町の景色

- 春夏秋冬で景色が変わる

- 昼夜で景色が変わる

- 星空がとても綺麗（長野は宇宙県）

- ・旅行した時にした経験

- 旅行ではひとつの景色しか楽しめない

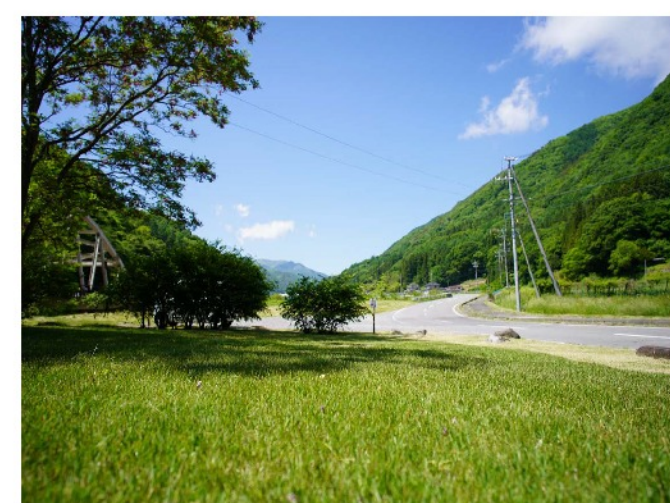
- 雨が降った時などに絶景が見られない

▷ 長和町の春夏秋冬

春



夏

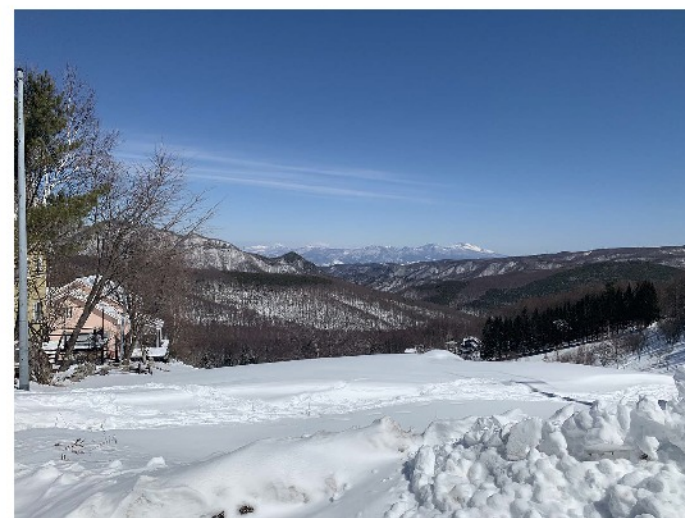


▷ 長和町の春夏秋冬

秋

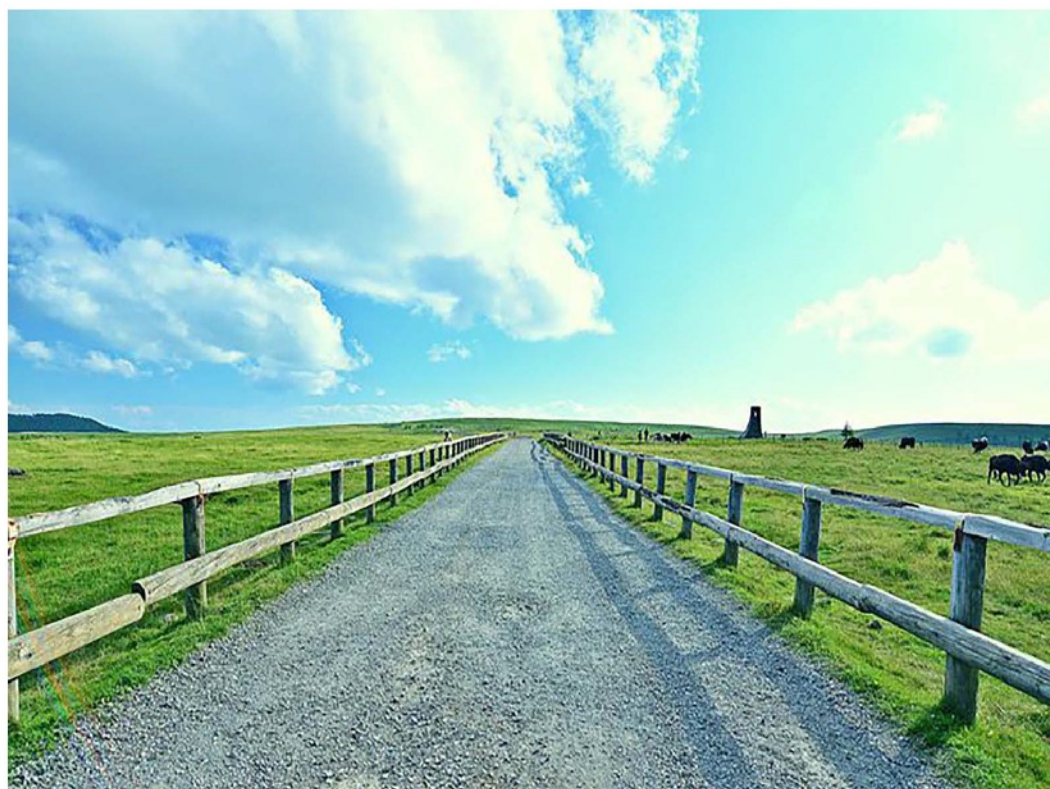


冬

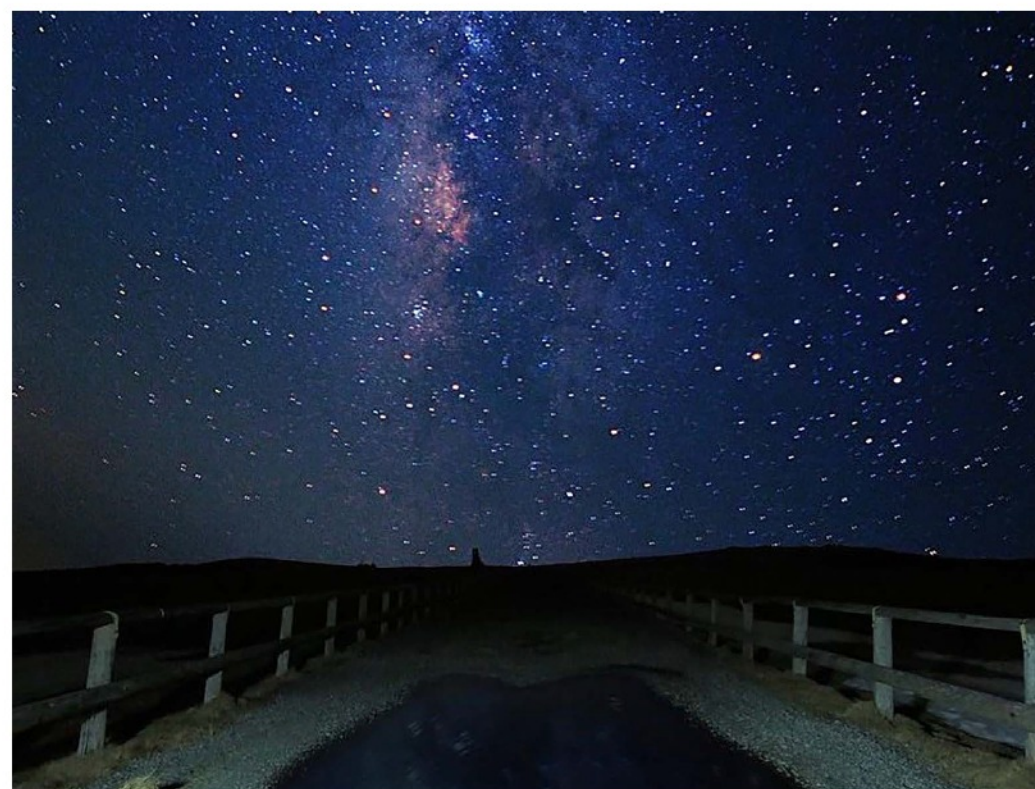


▷ 長和町の星空

昼



夜



▶ 目的

長和町に観光にきてくれても、綺麗な景色がたくさんあるのに一部しか見られないまま帰るのはもったいない

→いつでも絶景を楽しむ企画を考える

この企画を通して長和町の別の季節を映像で見てもらおうことで、別の季節も実際に見てみたいと感じさせ、また長和町に来たいと思ってもらう。

▷コンセプト

<ターゲット>

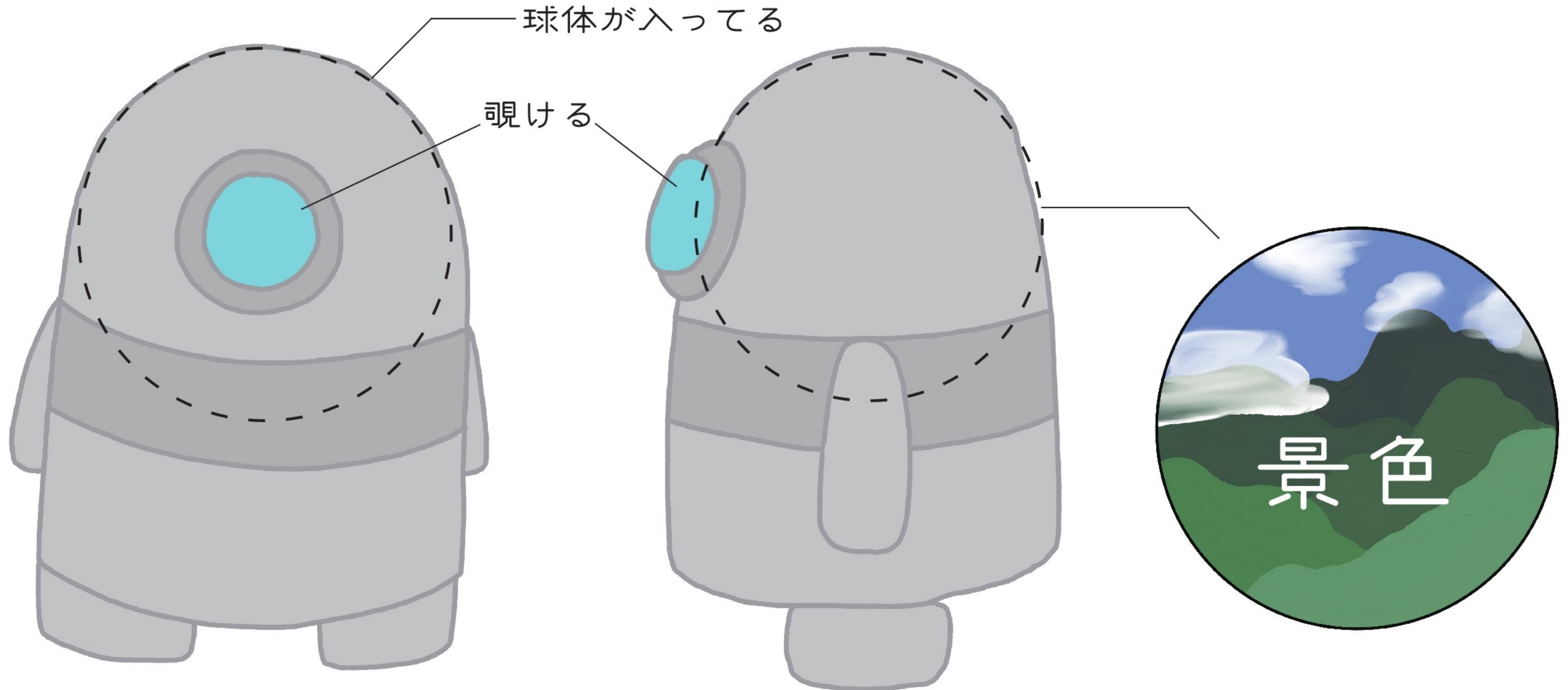
観光客

<内容>

バス停の横に覗くと景色が広がる球体の万華鏡のようなものを設置。
設置するバス停の一番近い絶景スポットの春夏秋冬の景色を球体の中に映し出せるようになっている。覗く場所が回転するようになっているため球体の中に広がる景色全体を見渡すことができるようになっている。
ただの球体だと面白くないので宇宙人の形にし、ストーリー性を持たせる。バス停ごとにキャラクターを変える。そうすることによって、巡ってもらえるし、フォトスポットにもなり集客効果が狙える。

▶ 装置

- ・ バス停の横に設置
- ・ 球体の中にそのバス停の近くの長和町の春歌秋冬の景色を映し出すことができる
- ・ 覗く場所が回転するようになっていてため景色全体を見渡すことができる
- ・ バス停に QR コードが貼ってあり読み込むとストーリーがわかるアニメーションが再生される



▷ 装置



春夏秋冬の写真で長和町の築いてきた景色を見てもらい今見えている長和町だけではないことを気づかせる。

▷ストーリー

ある日、UFOが長和町の美ヶ原高原に不時着する。

宇宙人たちは長和町の景色に感動して故郷の宇宙人にも見せてあげたいと考える。

そこで、しばらく長和町を探索することになった。

探索しているとバス停にたどり着く。

バス停が電波を発していて星との通信に使えそうと考えた。

そこで宇宙人たちはバス停から星に景色を送ることにした。

バス停1個につき宇宙人一体分のデータしか送れないためそれぞれ好きなバス停の場所に移動して居座ることにした。

地球で暮らすには人間と仲良くなった方がいいので人間にもおすそ分けで景色を見せてあげることにした。

▷ 設置例

男女倉



芹沢

